

Minuma Shun Sai

# 見沼・旬彩

2023年秋号 vol.26



氷川簸王子社 ひょうこうじしゃ  
中山神社



宮司 吉田孝年さん▶

## 秋の野菜料理

### サツマイモ・サンド

子供からお年寄りまで、サツマイモが大好きです。和風、洋風とこの時期を楽しみたいものです。



塩、バター適量▶



▲水にさらしたサツマイモ250gを煮る程度の水から、蓋をして150℃位で10分が目安。



見沼区中川143

明治末期の「合祀令」以前は「中川の氷川神社」とされていましたが、合祀令以降、「中山神社」と称されています。御祭神の中心は「大己貴命」「大國様」です。『日本書紀』で、父神・須佐之男命と母神・稲田姫命の「御子神」と位置付けられているため「簸王子社」と称されています。



▲日本殿

旧本殿（現本殿の後の覆屋の中）は、桃山時代の型式の建築物と考えられ、さいたま市内で最古の社殿で、県内に現存する社殿でも最も古い型式のもので、

## こばやし農園の「見沼たんぼ米」

農薬や肥料を使わず、土壌本来の力を活かして作物を栽培する自然栽培で、年間50～60種類の様々な野菜を育てている(株)こばやし農園の小林弘治さん。



▲小林弘治さん

2021年からは、年々減っていく見沼の田んぼの保全のために米作りにも取り組んでいます。

最初は1反2畝だった田んぼも、3年目の今年は見山、片柳、加田屋地区で合わせて8反ほどにもなりました。栽培方法はもちろん野菜と同じ無農薬・無肥料の自然栽培。自然の恵みをたっぷり受けて育ったお米の味は格別で、年末には完売してしまうほどの人気です。田植えや稲刈りの体験イベントも行っています。詳しくはHPをご覧ください。

農園直売所:見沼区片柳1-127 (カーナビでは1-128を入力) TEL.090-2470-2091

\*直売所の営業日時は季節により異なりますので、HPで確認して下さい。



▲商標登録されている「見沼たんぼ米」



▲稲刈り体験

## 齊藤農園

8月下旬稲刈りが始まった、見沼区丸ヶ崎の齊藤農園をお訪ねしました。同園の歴史は古く、江戸時代8代将軍吉宗の時代の米どころとして開拓された見沼たんぼ(1727年)より古いと言われ、1689年に作成された絵図に齊藤家が載っています。(QRコードのHPご参照)

子供達に、安心なお米を食べさせてあげたい。

籾種消毒を温湯消毒に切り替え、その後の稲作については徹底的な減農薬に取り組んでいます。また除草についても、草刈り機や手作業で行うことに重きを置いております。

稲作農家の6次産業化をめざして。

齊藤農園が稲作を行う丸ヶ崎新田は、平成27年大都市近郊型農業として農林水産省の環境保全地区としての認定を受けており、その中で同園は米つくりの各工程で機械化・省力化に積極的に取り組んでいます。

取材依頼の日は、三条刈りコンバインで稲刈り



▲齊藤さんご夫妻(中央)とお仲間たち折原さん(左)双田さん(右)コンバインで稲刈りをする園主、斎藤武さん▶

(脱穀・排藁処理が一度にできる)そして翌日取材の日は、前日に脱穀した籾の乾燥と籾摺り・玄米の袋詰め、更に精米も含めすべての工程が機械化されておりました。

さらに商品化されたお米は、ネット販売をする等、生産—加工—販売と稲作の6次産業化が、手の届くところにあることにも驚かされました。

見沼区丸ヶ崎1914 TEL.090-3234-8539



## MINUMA EVENT INFORMATION

### みぬま秋フェス2023 in さぎ山

2023年11月4日(土)・5日(日) 10:00～15:00

雨天決行 ※プログラムにより、中止する場合があります。

参加費 入場無料 ※有料のプログラムもあります。

お問い合わせ:さいたま市見沼田園政策推進課(見沼・さぎ山交流ひろば運営協議会 事務局) TEL.048-829-1413 (平日のみ)

見沼たんぼの交流の場「見沼・さぎ山交流ひろば」では、緑区のさぎ山記念公園で「みぬま秋フェス2023 in さぎ山」を開催します。産直野菜の販売、見沼たんぼクイズラリー、青空実験教室、工作体験、紙芝居など、親子で楽しめるプログラムが盛りだくさん。



### さいたま市農業祭

2023年11月18日(土)・19日(日) 9:00～15:00 ※雨天決行

市民の森・見沼グリーンセンター(北区見沼)

さいたま市の秋の大収穫祭として、市内農業生産者、市民・消費者の交流の場、また地産地消の推進を目的に2日間、開催されます。

さいたま市内の農業者による野菜・果物・花き・植木・農産物加工品の直売や餅つきなどのイベント、友好都市の特産品直売、多彩な出店及びショーなどがあり大人から子供まで家族連れで楽しめるイベントです。特に、生産者が自慢の農産物を披露する共進会(農産物品評会)は、600～700点の農産物が展示・販売され、受賞した農産物は人気の的となっています。さいたま市内の農業関係のイベントでは、最大規模のお祭りです。(入場者数は過去の実績で約11万人です。)

主催:さいたま市農業祭実行委員会

事務局:さいたま市経済局農業政策部農業政策課内

JR宇都宮線 土呂駅・徒歩7分、東武アーバンパークライン 大和田駅・徒歩15分



## 藁塚「フナノ」



域周辺で昭和30年代まで作られていたという藁塚です。楕円形に藁を積んで上に屋根をのせてあります。冬の間、藁を保存するために作られました。当時、藁は主に燃料として使用。他にも縄やムシロ、俵などの道具を作ったり牛のエサにしたりと、日々の生活に欠かせないものでした。田んぼ3反分(約30a)ほどの藁を使って作っていたそうです。

2008年、県立近代美術館の25周年記念展「田園賛歌」に見沼たんぼの藁を提供したことがきっかけで見沼ファーム21が地元の藁塚を探し、若い時作ったことがあるという高齢の農家さんの指導を受けて、2009年に再現しました。2016年からは「フナノ保存会」が活動を引き継いでいます。

今では暮らしから遠くなった「藁の文化」ですが、何ともいえない懐かしさを感じさせてくれます。

かつて日本各地では、それぞれに特色のある藁塚が作られていました。「フナノ」は、見沼たんぼ地

### 見沼のお店紹介!

## 緑に囲まれた「カフェ ハッピーツリー」

市営霊園の北側にありローソン脇の道を入ると、すぐに看板が見え営業日には幾つもの旗が立っています。店のロゴマークは「大きな木に鳥たちが来て、その木の下に人が集まるカフェ」を表現しています。木々に囲まれた小さなカフェで、ゆったりとした時間を過ごしてください、とのオーナー吉田さんの気持が表れています。

メニューは、ランチセットではパスタかピラフにサラダ・スープそしてソフトドリンクが付きます。他にもシフォンケーキや軽食等があります。木々に囲まれたカフェの明るい室内には、ゆったりと時間が流れ笑顔が溢れています。

見沼区大谷500 TEL.048-795-6539  
営業時間:11:00 ~ 17:00 火・水曜は休み



▲店主の吉田さん



▲ランチセット



▲カフェの看板と外観



▲大きな木々の下のカフェ



▲カフェへの道



## みぬま見聞館

大宮南部浄化センターに併設された環境学習施設および自然庭園です。自然庭園と館内(2階)のいとなみゾーン・ささえゾーンからなっています。

見沼の自然を楽しみながら学ぶことができ、自然や環境に関する図書のコーナーや、野鳥などを観察できる双眼鏡、ウォーターアドベンチャーやマジカルシアター、屋外には自然を再現したビオトープもあります。2001年3月に開館され、2022年度の見学者は8,617名、団体は小中学校の96件(2,000名)でした。コロナ後、見学者は増加傾向です。

入館料:無料(駐車場あります)

開館時間:9:00 ~ 17:00

休館日:毎月第4土曜日と年末年始

見沼区上山口新田508-1 TEL.048-646-6030

アクセス:最寄バス停 JR大宮駅東口より 東武バス(天沼循環)観音前下車 徒歩10分

国際興業バス(中川循環)宝乗院下車 徒歩5分



▲いとなみ・ささえゾーン



▲所長 小山達之さん ▲みぬま見聞館



## 大宮花の丘農林公苑

さいたま市西区にある総面積10.9ha (内3.3haはお花畑)と広大な大宮花の丘農林公苑を紹介いたします。

学校の夏休みの最中、子供連れの家族が、真っ赤に咲き誇るサルビア・ベコニア・マリーゴールドがあり、また大人気のジャブジャブ池で水遊びや園

内の遊具で遊ぶ子供たち、そのほか入り口近くにある緑のふるさとセンターには農産物直売所・花の丘レストラン・埼玉福祉事業協会が運営する「あかしあ森(焼き立てパンの直売店)」・駐車場と園内の施設も充実。ご家族そろって一度は訪れてはいかがでしょうか。

西区西新井124 TEL.048-622-5781  
営業時間:園内開花状況などは右記のQRコードでご確認ください。



▲ジャブジャブ池で水遊び



▲人工池に架かる白い橋

株式会社 KM FRUITS JAPAN  
守屋一隆さんのフルーツ直売所



「減農薬栽培」でのおいしい「シャインマスカット・梨」などを販売。

守屋さんは、殺菌剤・殺虫剤・除草剤・化学肥料を使わない「減農薬栽培方法」でシャインマスカットな

農業からパソコンまで  
幅広く活動する  
「地域人ネットワーク」

みんなで作る「見沼たんぼ産なたね油」が自慢ですが、パソコン教育や地域交流まで幅広く活動しています。皆さまの参加をお待ちしています。



人と環境にやさしい農業講演会について  
「自然と共存する持続可能な農業」開催のお知らせ

“環境に優しい農業”とは何か？  
農業を使う回数を減らせばいいの？  
国産を買えばいいの？  
農業と自然との関わりについて、また、これらの産業の近代化に伴って発生した様々な問題について紹介します。  
また、問題を少しでも良い方向に持っていくために、どうすればいいのか、私たちは何ができるのかに

どを栽培しています。ブドウをはじめ、梨、栗、レモン、キウイフルーツ、梅など、どれも限りなく無農薬に近い最高品質の果物を提供。染谷新道を南に、片柳の台地の「中央を通る道」沿いに、こじんまりした直売所があります。

10:00の開店時には、何人ものお客さんが並んで待っています。減農薬で手間をかけた栽培だけに、直売にしては、ちょっと高めな値段ですが、その品質を愛するお客さんが並んで買いにきていました。

営業時間:10:00 ~ 16:00 or 17:00 / 10月末に、ブドウがなくなり次第、閉店。  
見沼区片柳2-1 TEL. 080-3029-2221  
ホームページ (株) KM FRUITS JAPAN - 見沼区の果樹園 (business.site)



MINUMA New Face / 武藤農園園主 武藤由加さん



理工系の大学卒業後、民間企業に6年ほど勤めました。会社員時代に、親戚が住む奄美大島の「たんかん畑」を手伝ったことがきっかけで農業に興味を持ちました。  
結婚後、実家のある岩槻に住むことになり、祖母の実家が、元々農家で先祖代々、江戸時代から自家採種を続けている伝統野菜「岩槻ねぎ」をずっと作り続けていることを知りました。  
ご先祖さまが繋いでくださった、貴重な種を守り、栽培したい、美味しい「岩槻ねぎ」を広めたいという気持ちが大きくなりました。  
元々農業とは無縁の生活でしたが、まずは市民農園を借りて、自分で野菜を育ててみると楽しくて、採れたて野菜の美味しさにすっかりハマってしまいました。さいたま市グリーンセンターで1年間の農業研修を修了し、新規就農しました。就農2年目で

「自然と人の健康を守る循環型農業」をテーマに、農薬と化学肥料を使わない有機栽培、肥料を使わず自然の力のみを生かした自然栽培、の2通りで栽培しています。場所は見沼(春おか広場前)(1反)と岩槻(7畝)の2カ所の畑を借りています。  
岩槻ねぎの他にも、里芋、ミニトマト、枝豆、葉物野菜なども育てています。(美味しいものが大好きなので、色んな品種を栽培しお気に入りを見つけることも農業の醍醐味だと感じています。)  
奄美大島のたんかん畑も引き継ぐことになり、さいたま市と奄美市の2拠点での農業です。  
さいたま市では耕作放棄地を借りたので、大変なことばかりですが、楽しく農作業をしながら少しずつ規模を拡大していきたいです。  
野菜の栽培、販売だけでなく、収穫体験や調理イベントなども開催し、農業を通して地域の方たちとの交流も増やしていきたいと考えています。

販売場所:春おか野菜市、JA南彩 岩槻農産物直売所あさつゆの里、また同じ新規就農の仲間と助け合いながら、市内のマルシェにも積極的に参加しています。  
所属:さいたま有機都市計画、さいたまCityふぁーまーず見沼区小深作半縄852

ガイドツアー  
まんじゅしゃげ  
「曼珠沙華の赤い道」をのんびり歩く 2023年9月27日(水)

集合:北浦和駅改札口東側のコンコース 9:30 解散:大宮駅 12:45  
北浦和駅からバスで七里総合公園に向かい、そこから見沼代用水東縁に咲く曼珠沙華の赤い道をのんびり歩きます。見沼代用水沿いの自然や見沼たんぼ地域の歴史・文化、秋の見沼たんぼの風致・景観を楽しんでください。  
歩行距離:2.5Km 参加費:300円  
コース:北浦和駅→バスターミナル⑤番9:55(350円)⇒バス停・七里学校前10:20→七里総合公園→秋の加田屋新田→見沼弁財天→見沼代用水東縁の曼珠沙華の赤い道→見沼自然公園12:00解散→締切橋バス停12:19(340円)⇒大宮駅12:45  
申込先/担当ガイド:北原典夫 TEL.090-2675-1684 FAX.048-834-5731  
メール:minuma.farm.kitasaku@ever.ocn.ne.jp  
開花遅れの場合:9月30日(土)に順延します。メール等でご連絡します。



三好あき子と歩く、見沼自然散策 秋に生きる  
2023年10月28日(土)

集合:さぎ山記念公園 さぎ山記念館 9:30 解散:12:30 参加費:300円  
自然観察を通じ、自然の大切さを学び、見沼があるからこそ自然を伝えます。秋の見沼の自然を楽しんでいただきます。  
主なコース:さぎ山記念公園→周辺散策→見沼自然公園→さぎ山記念館  
申込先:ガイド・三好あき子 メール:a-hill-m@nifty.com FAX.048-763-7610



